

桶川市新庁舎のご案内



建物概要	
施設名	桶川市役所
所在地	埼玉県桶川市泉一丁目3番28号
発注	桶川市
設計・監理	株式会社日本設計
施工	大成建設株式会社 関東支店（建設工事・木造工事） 三位電気株式会社 本店（省エネルギー照明設備工事） 新日本空調株式会社 埼玉営業所（省エネルギー空調設備工事） ミサワ環境技術株式会社（再生可能エネルギー設備工事（その1・地中熱利用促進工事）） 中央電工株式会社（再生可能エネルギー設備工事（その3）） 株式会社EACH（電気自動車充電設備工事） 青木清掃株式会社（外構工事） 株式会社中村植産造園（植栽工事）
敷地概要	
敷地面積	4,184.14㎡
用地地域	第一種住居地域/準住居地域
法定容積率	200%
法定建ぺい率	70% (60%+10%角地)
防火地域	指定なし
地域・地区等	指定なし
道路	東側：市道1-3号線 幅員約9m 北側：県道川越・栗橋線 幅員約28m (全幅) 市道4363号線 幅員約6m (側道 (一方通行))
排水	汚水：公共下水道処理区域 雨水：宅内処理 (桶川市開発行為等に関する指導要綱による)
施設概要	
建築面積	2,270.33㎡
延べ面積	9,543.18㎡
構造	主体構造：鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、木造 基礎事業：杭基礎
階数	地上5階、塔屋1階 (地下なし)
耐震安全性	「官庁施設の総合耐震計画基準」による耐震安全の分類 構造体I類/建築非構造部材A類/建築設備甲類
工期	平成28年6月～平成30年2月 (21ヶ月) (解体工事含む)
外部仕上	
屋根	フッ素ガルバリウム鋼板/コンクリート直均しアスファルト防水
外壁	金属サイディング/ALC複層仕上塗材/コンクリート化粧打放し
建具	アルミサッシュ/ステンレスサッシュ/スチールドア
電気設備概要	
電力	引込 架空方式 1回線 6.6kV
変圧器	7台 1,550kVA
非常用発電設備	1台 200V 300kVA
太陽光発電設備	10kW (みなし低圧連系)
照明	執務室基準照度 750lx (昼光センサにより自動調光) 光源種別 全館LED
防災	自動火災報知設備 複合GR型 非常照明設備 電源内臓型 非常放送設備 一般放送兼用型 (アンプ容量360W)
空調設備概要	
熱源	エネルギー ガス/電気/井水/地中熱 装置 空気熱源ヒートポンプ2台/地中熱源ヒートポンプ1台/ GHP8台/EHP21台
総容量	冷熱源1,337KW 温熱源1,384KW
空調方式	外気処理空調機+ビル用マルチパッケージ空調機 直膨コイル付全熱交換器+ビル用マルチパッケージ空調機 など
換気	第1種、第3種
排煙	自然排煙方式
給排水衛生設備概要	
給水	水源 上水/雑用水 引込口径40mm ポンプ圧送 受水槽 上水4.7m ³ ×1基/雑用水31.2m ³
給湯	貯湯式電気温水器、瞬間式電気温水器
排水	屋内排水 分流 雨水再利用装置 屋外排水 下水道放流 (汚水)、敷地内浸透処理 (雨水)
ガス	都市ガス 低圧75mm
消火	屋内消火栓/連結送水管/移動式粉末消火/消防水40m ³

基本方針

1. 立地特性・周辺環境等に配慮した庁舎
2. 防災・災害復旧拠点としての役割を果たす庁舎
3. 建設コストの縮減及び維持管理の容易性やランニングコストの低減に配慮した庁舎
4. 自然エネルギーの活用や省エネルギー化等による環境負荷の低減に配慮した庁舎
5. 市民が利用しやすく、時代の変化に柔軟に対応可能な庁舎

2つのテーマ

「旅籠の間取り」

休憩できる縁側空間、回遊性のある廊下、借景となる中庭、・・・。
市民のふれあいが育まれる庁舎です。

「兼ねる」庁舎

会議室の市民利用、屋外駐車場の広場利用、ピロティ駐車場の災害時利用、・・・。
限られた敷地と空間を有効活用した庁舎です。



2階ロビー廻り



幅広い利用が可能な会議室

市長あいさつ

このたび、長年の懸案となっておりました新庁舎が完成いたしました。これもひとえに市民の皆様をはじめとする関係各位の多大なるご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

旧庁舎は、桶川町の時代だった昭和34年、この地に建設されて以来、時代の変遷とともにその時々の需要にこたえるための増築や分棟などを行ってまいりました。

今回、新築された庁舎は、限られた敷地の中でコンパクトに機能を集約し、ワンストップサービスの実現や大規模災害等への対応、さらに環境にも配慮した庁舎として新たに生まれ変わりました。

新庁舎完成を機に、より効率的、かつ、人にやさしい行政運営をめざし、職員一丸となって市民サービスの向上に努めてまいります。

今後とも、市民の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。



桶川市長 小野 克典

議長あいさつ

新庁舎がめでたく完成いたしましたこと、議会を代表いたしまして、心より喜び申し上げます。

この新庁舎は、安全性や機能面の充実はもとより、市民への開放スペースを設けるなど、市民間の交流もさらに醸成していこうという新たな試みもあり、市民の皆様が親しまれる庁舎になるものと期待をしております。

そのためには、運営に携わる議会、職員が、市民サービスの向上に一層の努力が必要であると強く認識をしており、私どもも、これを契機に新たな議会運営を推進し、市民の皆様のご希望にこたえてまいりたいと存じます。

新庁舎の建設にあたり、特段のご支援、ご協力をいただきました市民の皆様、並びに建設にかかわられた関係各位のご努力に深く感謝申し上げます。



桶川市議会議長 佐藤 洋



所在地：埼玉県桶川市泉一丁目3番28号
JR高崎線桶川駅より徒歩10分

3つのコンセプト

ボリュームの考え方	ゾーニングの考え方	造り方
セツトバック型低層庁舎	川の字配置	木造庁舎
北東側市道に面した部分の高さを低く抑えた、まちなみに呼応する庁舎です。	3つのゾーンを川の字に配置した、シンプルで分かりやすい庁舎です。	木の骨組みに囲まれた、ぬくもりのある、桶川らしい庁舎です。



セツトバックした市道側



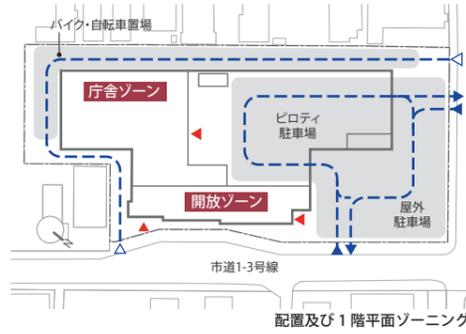
川の字に並ぶ建物



木に包まれた情報コーナー

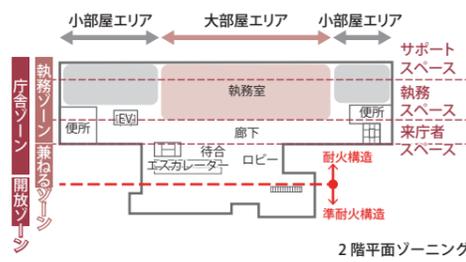
配置計画

- ・市道に沿って、市民が利用できる木造の開放ゾーン（市民ギャラリー・カフェスペース等）を配置し、賑わいのあるまちなみを形成しています。
- ・駅からの歩行者、自転車の動線と、自動車の動線が交差しない歩車分離となります。
- ・駐車場は、屋外・ピロティそれぞれが多目的に利用できるスペースです。
- ・それぞれの出入口から、総合案内やEV、階段まで迷うことなく到達できます。



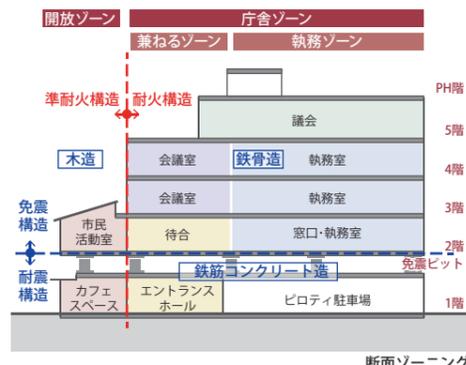
平面計画

- ・直線で見通しがい廊下によるシンプルな片側執務室とし、分かりやすくフレキシブルな空間です。
- ・来庁者・執務・サポートの3つのスペースも川の字型に配置することで、来庁者も職員も使いやすい執務室です。
- ・「川の字配置」に沿って区画をすることで、休日や時間外での市民利用が可能です。



断面計画

- ・周辺が住宅地であることに配慮し、建物高さを抑えた5階建てとしています。
- ・北東側市道に面する部分を2階建てとすることで、住宅が並ぶまちなみに高さをあわせるとともに、北側への日影の影響を抑えています。
- ・直天井を採用して階高を抑えることによりコスト削減、設備メンテナンス性の向上に寄与しています。
- ・建物用途が市役所庁舎であり、災害応急対策活動が必要な施設であることから、免震構造を採用しています。



環境計画

桶川の気候に配慮した計画

- ・長い日照時間を活かし、太陽光発電設備による自然エネルギーの直接利用・明るさセンサーによる昼光利用を行っています。
- ・夏の暑さ、冬の寒さが厳しい気候を考慮し、空調熱源に地中熱を利用し、熱源システムの高効率化を図っています。
- ・春季・秋季の南東風を取り込む開口を設け、階段室を利用した自然換気を促進しています。

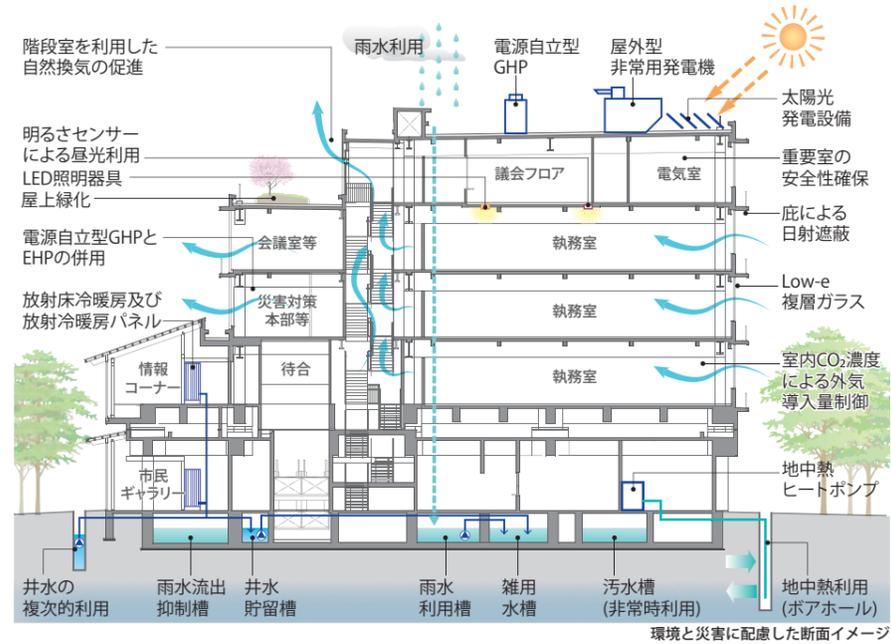
敷地条件に配慮した計画

- ・豊富な井水を冷暖房や雑用水など複次的に利用し、環境負荷低減を図っています。
- ・雨水を便所等の雑用水として再利用することで、雨水の敷地外流出を抑制しています。



環境負荷低減に配慮した計画

- ・太陽光、井水などの自然エネルギーを積極的に活用し、環境負荷低減を図っています。
- ・LED照明器具や節水器具など、高効率・省資源型の機器を設置しています。



災害対策計画

- ・停電時に備え、非常用発電機（燃料72時間分）、太陽光発電設備、電源自立型ガス熱源空冷ヒートポンプパッケージ空調機を設置し、復旧活動を行う諸室への電力供給を行っています。
- ・浸水対策として、電気室・非常用発電機・MDF室・電算室等は2階以上に配置しています。
- ・空調のエネルギー源として電気と都市ガスを併用し、室内環境維持に対する高い信頼性を確保しています。
- ・上水、雑用水は4日分の必要水量（飲料水は除く）を確保しています。また、同等の水量を貯留できる汚水タンクを設置し、下水破断時に備えています。



平面図

